

## 丸亀で会いましょう

### チャレンジ!夢をかなえてバス運転手に

山本美香さんは、「ぐるっとバス」に勤務するようになって8年。以前はバスガイドさんでした。全長12mの大きな観光バスを走らせる運転手の運転ぶりに憧れ、ついに大型二種免許を取得。その1年後に運転手へと転身したのです。行楽シーズンには、憧れだった大型観光バスにも乗務しています。「バスの運転が大好きです!見晴らしのよい運転席で季節を感じ、景色を楽しみながら走っています。もっともっと運転技術を磨いて、先輩運転手のように狭い道でも動揺せずに運転できるようになりたいです。」と、意気込みを力強く話してくださいました。



現在、「ぐるっとバス」の運転手として3名の女性が乗務しています。

乗務を終えて帰ってきた氏家明子さんは、「ぐるっとバス」の運転手になって2年。運転手になることを決めたのは、仕事を探している時に、偶然見かけたバスの運転手が女性だったので、「私にもできるかもしれない」と思ったのがきっかけだそうです。「利用者の方に、目的地まで安心して気持ちよく乗っていただけるように、安全運転を心がけ、時刻表通りに運行できるよう日々心がけています」との頼もしい言葉に、職務への強い責任感があふれていました。

しかし、まだまだ男性が多い職業ということもあり、女性がバスの運転をしていることに驚く方もいらっしゃるそうです。「女性にも、意欲があるなら迷わずにどんどん挑戦してもらいたい。」希望した仕事に従事し、やりがいを感じている姿は、生き生きと輝いていました。

## ゆめネットワーク情報紙



第18号

城丘幼稚園



平成18・19年度  
男女共同参画モデル校



飯野小学校

## みんなが幸せになるまちづくりをしよう!

「DV・虐待 加害者アプローチ研究全国大会」～第3回日本男性学会議～  
分科会「『男』悩みのホットライン12年の活動報告」に参加して  
(2007.10/20-21)

“男性の電話相談”の活動報告会に参加しました。

脱暴力を目指した男性たちへの加害者プログラムを出発点として始まり、男性の悩みであればどんなことでもすべて受けとめるという、男性限定の電話相談です。

男性からの主な相談内容は、性に関する悩み、生き方の悩み(家族関係、仕事など)、夫婦間の悩み(妻の家出・離婚・DVなど)が多く、DV防止法の制定後は、DV加害者からの相談が増加し、内容も複雑化しているとのことです。

DVという暴力による人権侵害は、被害者だけでなく加害者(主に男性)に対しても、行政による相談窓口の開設や支援プログラムの開発など総合的なサポートが必要だと、考えさせられました。

男女平等が提唱されて久しい21世紀の現在でも、男性には相変わらず、「仕事ができる」「体力が

ある」「家族を養う」などの男性像が期待され、男性も自らに課した「男らしさ」のイメージを追い求めて頑張っているようです。

しかし、年間3万人の自殺者のうち7割が男性で働き盛りの人が多い、というのが現状です。長引く不況や社会経済状況の激変によるリストラなど、社会の狭間で様々な悩みを抱える男性の姿が見えてきます。

男女共同参画社会は、すべての人が自分らしい幸せを見つけられる社会です。男性も「男らしく」より「自分らしく」生きられ、みんなが幸せに過ごせる男女共同参画のまちづくりを市民みんなで進めましょう。

### DV(ドメスティック・バイオレンス)

配偶者や恋人など親密な関係にあるパートナーからの暴力のことです。身体的なものだけでなく、心理的、経済的、社会的、性的などさまざまな暴力が含まれます。

### DV防止法

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(平成13年成立、平成16・19年改正)



## Information

### 学習会

男女共同参画の現状を見てみよう

### 第5回「男の相談-男が語る・男が聴く」

男性は何を悩んでいるのか?  
男性の視点から男女共同参画を考える。

講師・濱田智崇さん  
(『男』悩みのホットライン代表・臨床心理士)

とき・12月9日(日) 14:00~16:00

ところ・まなびらんど5階  
男女共同参画推進ゆめ

### 男女共同参画推進条例制定記念講演会

### すてきにアタらしく ~個人の顔で生きていますが~

講師・中山千夏さん(作家)  
とき・平成20年2月20日(水) 13:30~  
ところ・ひまわりセンター4階  
第1・2研修会議室

主催・丸亀市、ゆめネットワーク、  
かがわ男女共同参画推進員  
※参加無料、一時保育あり(要予約2月8日(金)まで)  
※問合せ・一時保育申込み/市企画課男女共同参画室  
(TEL.24-8839)



### 編集後記

実家が改装して電磁調理器になったので、使えなくなった鍋をもらってきた。何年も使い込んで年季の入った鍋だが、育ち盛りの私たちにとっては“魔法の鍋”だった。蓋がコトコトという音や、そばで立ち働く母の足音が、いいにおいと一緒に部屋まであがってきたものだ。そんな思い出のスパイスを隠し味に、今度は我が家の腹へお訪主たちを幸福な気持ちで満たしてくれるだろう。(Y)

### チャレンジサイトをご存知ですか?

<http://www.gender.go.jp/e-challenge/>

内閣府男女共同参画局では、意欲ある女性が社会で活躍し、男性もゆとりある生き方を目指す、暮らしの構造改革の実現に向けて、「女性のチャレンジ支援策」を進めています。

女性の割合が少ない分野へのチャレンジ支援策の一つとして、女子高校生や女子学生が将来の自分を明確にイメージして、理工系への進学や就職などの進路選択ができるように応援しています。



チャレンジ・キャンペーン(<http://www.gender.go.jp/c-challenge/>)